

申請日： 年 月 日

WGC 大会本部 御中

※できる限りの範囲で記載してください。自由に記載、頁数に拘りません。

〔藤倉ゴム賞〕 「コンポジット賞」 申請書

ゼッケンナン チーム名										
代表者										
連絡先	〒				－					
	TEL	－				－				
	FAX	－				－				
	E-mail	@								
大会本部記 載										
評価など										

(1) 自己のチームについて、どの部分を「コンポジット（複合化）」
しましたか？（機構、部材、気持ち!?の面でも、とにかくコンポジット
した部分）

--

(2) 自己のチームで今回工夫したもの及びアピールしたいものは？

(3) 自己のチームの活動が将来どのように役立つと思いますか？

(補足)

日本での初めてのソーラーカーレースは、エネルギー消費増と環境保全との相反するテーマに関心が持たれ、電気自動車などのクリーンエネルギー自動車の開発、実用化がより強く求められる中、1992年に電気事業者連合会とエネルギー庁の強力なバックアップにより石川県・能登で実現しまし

た。そして、20年が経過し、猛威を振るってしまった東日本大震災の後、自然の力が主役となり、必要以上の電気エネルギーをつくり出す責任の重さと貴重な電気を使用する尊さを改めて感じさせられます。

秋田県大潟村での本年度の大会は、25年を迎えています。

また、ものづくり及び技術者育成の観点から、「環境（エコ）に関する賞」の設定や特別賞など推進、検討しています。また、環境（エコ）に結びつける手段の一つとして、「コンポジット（複合化）」を特に注視しています。今回はこのコンポジットを軸に皆様の活動を特別賞として称えます。

最初は、特別賞として扱い、その後グランプリの大会でのポイントにすることも検討中です。

エンタラントとオフィシャルが一体となって、健全なる電気自動車の普及・促進を目指し、挑戦を繰り返しているのが秋田県大潟村でのソーラーカーレース（WG C）です。

熊谷枝折

（文責：